

令和5年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更令和5年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 趣のある風景情報発信事業	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘前城本丸石垣整備事業	3
2 鷹揚公園整備事業	4
3 景観重要建造物等保存・改修費助成事業	5
4 趣のある建物情報発信事業	6
5 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	7
6 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	8
7 追手門広場改修事業	9
8 松並木保存管理事業	10
9 津軽塗後継者育成研修事業	11
10 津軽塗技術保存伝承事業	12
11 弘前市民俗文化財用具修理事業	13
12 レッツウォークお山参詣開催	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	15
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	16
3 保存・活用の普及と啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 維持管理へ「守人」募る	18
2 殿様獅子 下乗橋渡り初め	
3 江戸の技術に市民感嘆	
4 火災から国重文守れ	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 景観ブースの開催	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

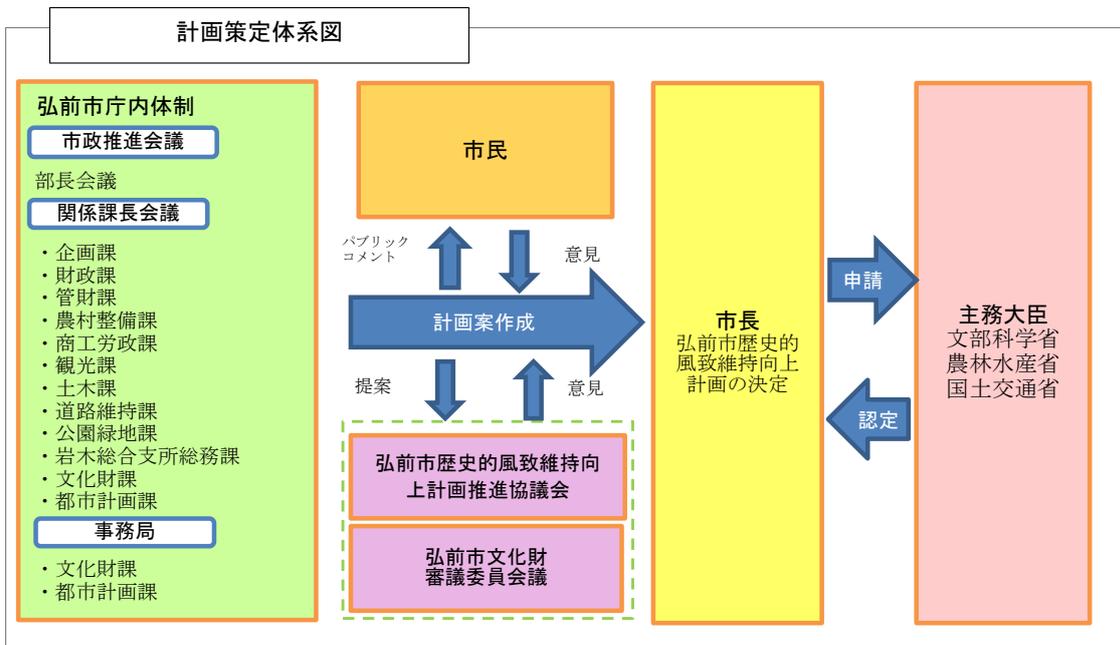
計画に記載している内容 必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等について、報告、意見の聴取等を実施することで計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した、「弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 対面開催 令和6年2月14日(水)
- (2) 案件 令和5年度 進行管理・評価シートについて
弘前市歴史的風致維持向上計画の中間評価について
弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
趣のある風景情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、市内各所の施設等に設置、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約10,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

—

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【弘前さくらまつりに出展した景観ブースでの設置状況】
(令和5年4月15日、16日、17日出展)



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
弘前城本丸石垣整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和9年度

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 重要文化財である弘前城天守が載る本丸東面と南面の石垣に崩落の危険性があるため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は石垣東面(南側)積直し工事の2か年目であり、北側工区の石垣を天端まで、南側工区の石垣を9段分積上げており、これまで積直した築石数は1636石に及ぶ。工事では、経年劣化した法面や天守を載せるRC耐圧盤を支える深礎杭の打設部分で、近世盛土及び縄文時代晩期の遺物包含層等を掘削する必要があることから、発掘調査を実施した。なお、石垣積直しの方針や発掘調査の内容等については、昨年度に引き続き、石垣修理現場アドバイザーによる現地指導や弘前城跡本丸石垣修理委員会等を開催し検討している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各専門分野の有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【委員会等の開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

第1回 令和5年10月30日 石垣積直し工事進捗状況について、天守台石垣仮組み状況について、天端の不陸による排水系統の乱れについて、天守台石垣におけるコンクリート充填部分の調整方法について、天守台深礎工部分における縄文時代の遺構・遺物の取り扱いについて

(予定)第2回 令和6年3月28日 石垣積直し工事進捗状況について、石垣積直し工事に伴う発掘調査成果について、令和6年度の工事予定について、弘前城天守曳戻し工事の概要について

○石垣修理現地指導

今年度:1回実施(7月7日)

【石垣東面(南側)積直し工事概要】

- ・工事期間:令和4年12月21日～令和7年3月15日
- ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、湧水箇所排水対策工、仮設工、雑工

【積直し工事に伴う発掘調査に関する実施概要】

- ・調査期間:令和5年5月～令和6年3月
- ・調査内容:経年により風化した法面や天守を載せるRC耐圧盤を支える深礎杭の打設部分で近世盛土等を掘削する必要があることから、発掘調査を実施した。その結果、深礎杭打設部周辺で縄文時代晩期の集石遺構1基、性格不明遺構2基、弥生時代～古代にかけてのピットを1基確認した。遺物は縄文土器、石器、土師器等が出土している。

【第1回石垣修理委員会 現地説明状況】



【石垣修復工】



【新補石材調達工】



【発掘調査状況】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
鷹揚公園整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和15年度

支援事業名 防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、園内にある亀甲橋の木部更新工事のための実施設計を実施した。

- ・亀甲橋木部更新工事実施設計:N=1橋

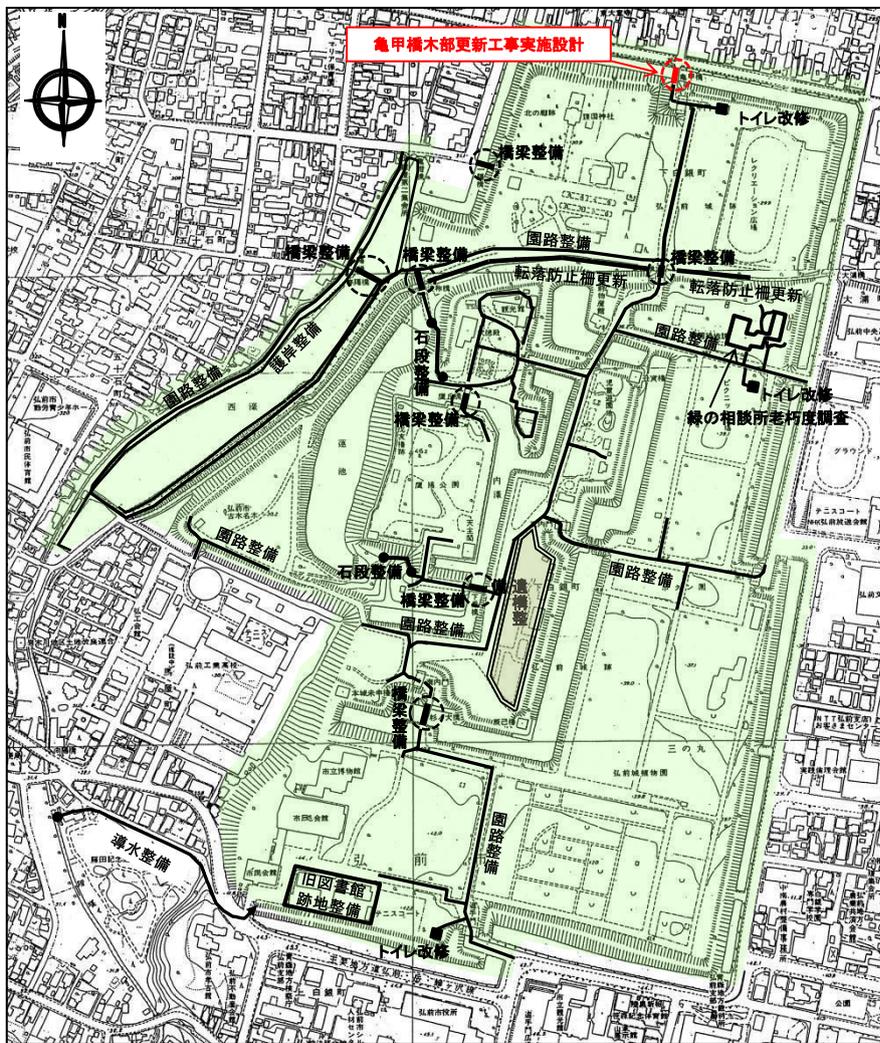
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

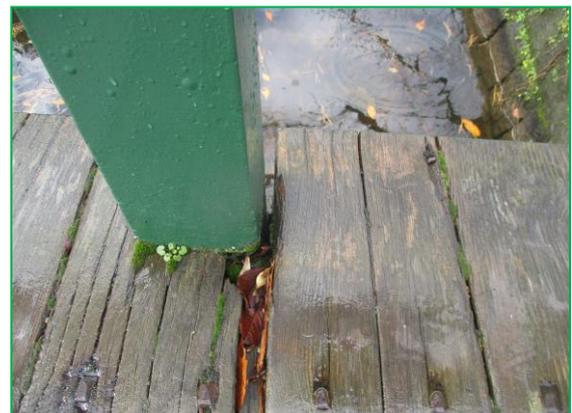
状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



R4年度迄実施 : ——
 R5年度実施 : ——

【亀甲橋現況】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物等保存・改修費助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物及び歴史まちづくり法に基づく歴史的風致形成建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川崎染工場(歴史的風致形成建造物・令和3年5月20日指定・第6号)について、雨雪により腐食した外壁等及び雪止め具取替修繕工事を行い費用の一部を助成。旧一戸時計店(歴史的風致形成建造物・令和3年5月20日指定・第7号)について、経年劣化が著しい二階内装を往時の姿に再現し、事務所、集会所兼見学施設とするための修繕工事を行い費用の一部を助成。高砂(景観重要建造物・令和5年7月27日指定・第17号)について、雨雪により腐食した外壁下見板を改修し、費用の一部を助成。

進捗状況 ※計画年次との対応

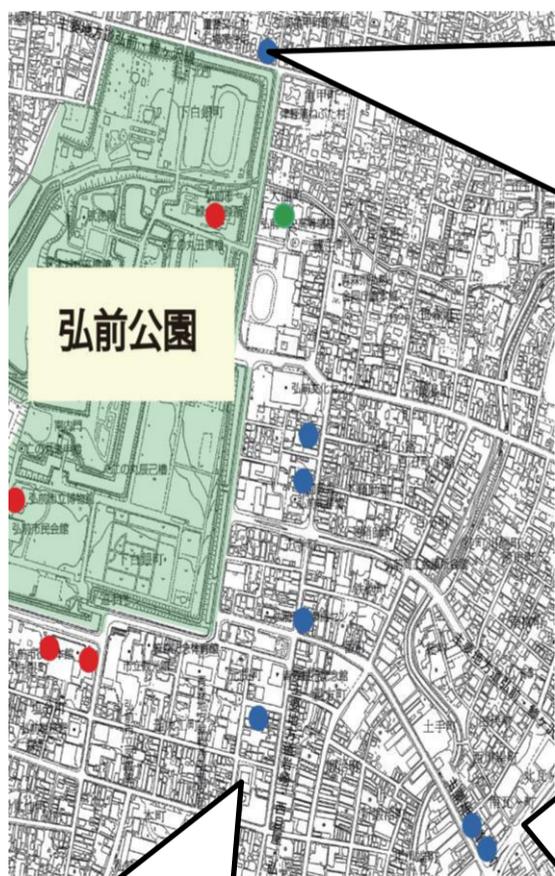
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物と歴史的風致形成建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

位置



弘前公園

川崎染工場(歴史的風致形成建造物)
外壁等及び腐食雪止め具取替修繕

改修前



改修後

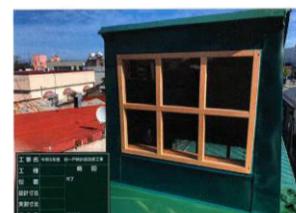


旧一戸時計店(歴史的風致形成建造物)
往時の姿に再現及び保全修繕

改修前



改修後



高砂(景観重要建造物)
外壁下見板改修



改修前

改修後

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
趣のある建物情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

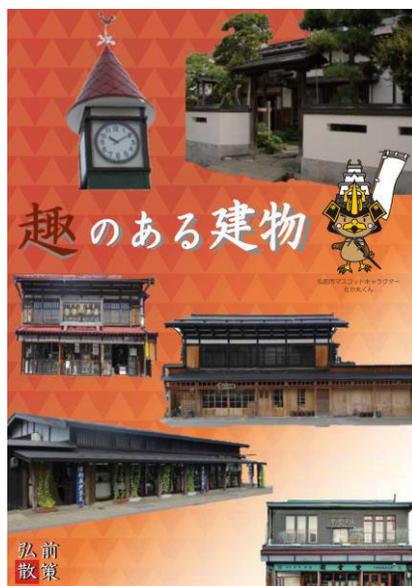
「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等でガイドマップを配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

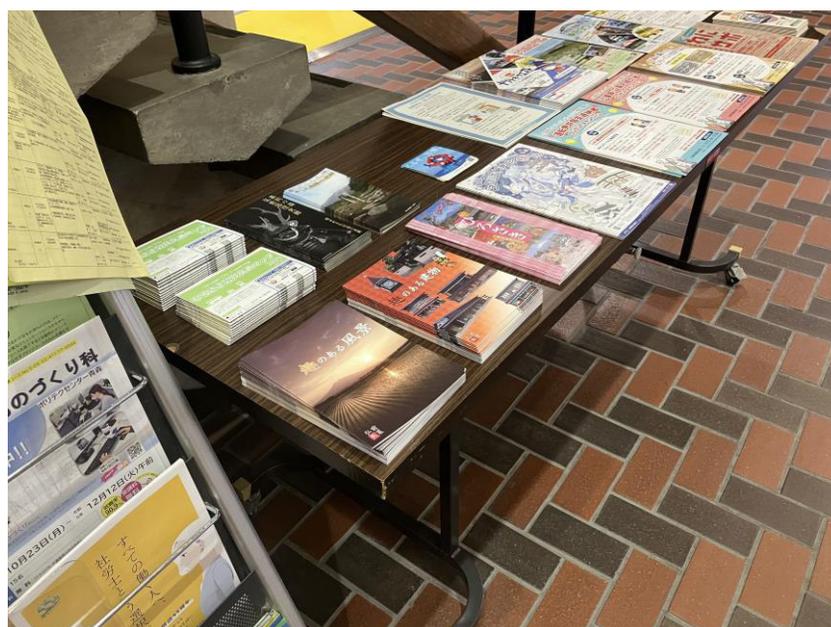
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【弘前市役所での設置状況】



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)		
計画に記載している内容	仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。 地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度実績 ・伝統的建造物群保存地区修理修景事業補助(4件) 総事業費 833,440円 補助金交付額 407,000円 (門修景1件、生垣修理1件、生垣修景2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存活用計画見直しにより伝建地区として保存していくべきものについて範囲が拡大した最初の年度でもあり、これまでになかった庭園整備等を実施した。引き続き、所有者の経費負担の支援の拡充について検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
・修景事業【薬医門控柱の根継ぎ修景】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>施工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>施工後</p>  </div> </div>			
・修景事業【サワラ生垣修景】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>施工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>施工後</p>  </div> </div>			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和10年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、登録有形文化財及び景観重要建造物である三上ビルがあり、さらにねふた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

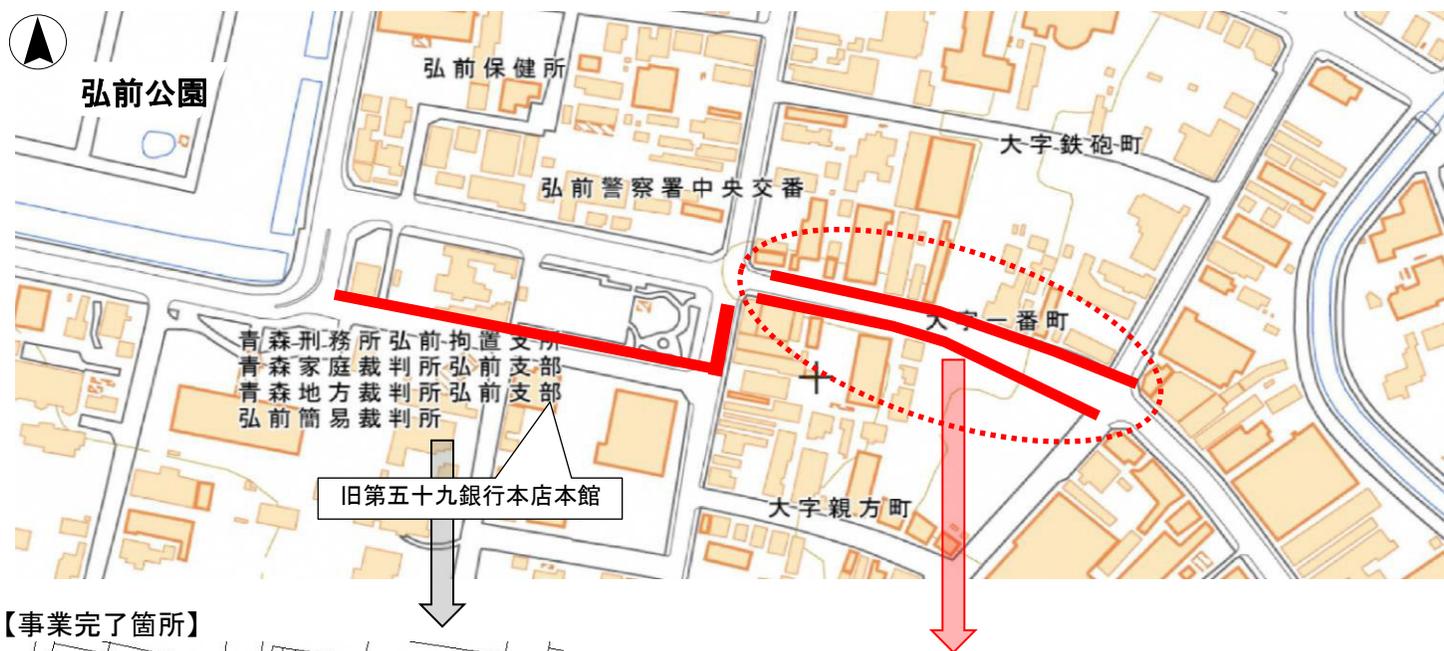
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前市民中央広場に隣接する区間については、令和3年度に電線地中化と歩道のロードヒーティングの設置が完了し、1年を通しての快適な歩行空間確保並びに、良好な景観が創出されている。今後は桜の名所の観光地である弘前公園と土手町商店街を結び、ねふた運行ルートとなっている一番町工区の電線地中化について、沿線住民の協力を得ながら参画事業者や道路占用事業者と調整を図り、工事着手に向けた取り組みを進めていく。

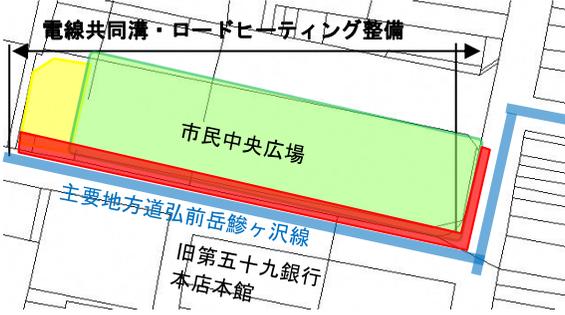
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一番町工区の整備については、令和4年度までに取りまとめをした課題整理、交通量調査等に基づき、今年度は詳細設計を実施し関係事業者との協議・調整を進めており、年度内には地元住民への事業説明を行う予定である。来年度からは、本体工事に向けた支障物件移設工事に向け、道路占用事業者との調整を図ることとしている。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】  ...主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業(青森県)



【事業完了箇所】



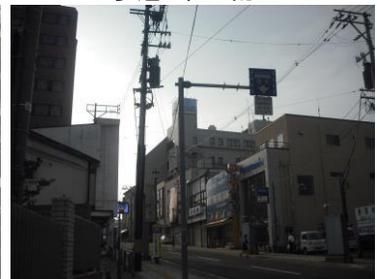
-  ...弘前岳繻ヶ沢線整備事業(青森県:整備済み)
-  ...市民中央広場整備事業(弘前市:整備済み)
-  ...市民中央広場整備事業(弘前市:拡張予定)

【事業箇所の状況】

電線が道路を横断



歩道に柱が乱立



地元住民への説明(R5年3月)



【事業完了箇所】ロードヒーティング整備完了後



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、ミニチュア建造物の修理を弘前工業高等学校のご協力のもと行った。令和4～6年度の3か年計画で、ミニチュア建造物(かくは宮川デパート)の修理を行い、追手門広場の景観保全に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

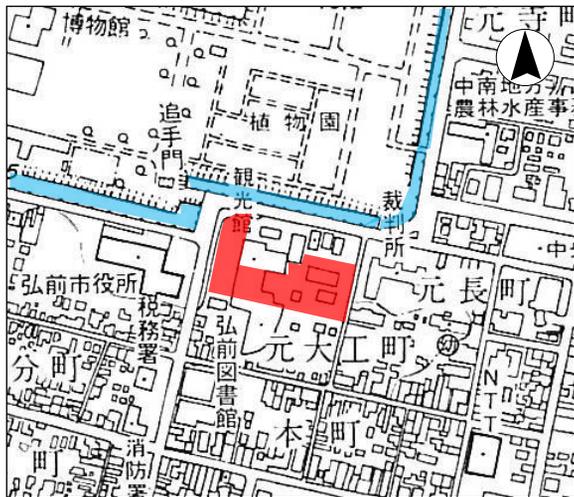
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来年度も引き続き経年劣化したミニチュア建造物の修理事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【ミニチュア建造物修理作業状況①】



【ミニチュア建造物修理作業状況②】



【ミニチュア建造物修理作業状況③】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
松並木保存管理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○松周囲及び周辺緑地の環境整備 ①草刈り(年2回) 観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。 ・1回目:5月30日～6月10日実施 ・2回目:9月4日～13日実施 ②サワラ生垣の刈込(年1回) 時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。 ・8月17日～28日実施 ③施肥 ・6月19日実施 ・施肥実施対象木 : 60本中18本(百沢街道)、15本中2本(高岡街道) 計20本/75本 ・使用する化成肥料: 18g/本(N:P:K=17:10:10) マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整) 総打ち込み本数: 264本			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。		
状況を示す写真や資料等			
○松周囲及び周辺緑地の環境整備 ①草刈り(百沢街道) 【施工前(1回目)】 令和5年5月30日  【施工後(1回目)】 令和5年6月10日  【施工前(2回目)】 令和5年9月4日  【施工後(2回目)】 令和5年9月13日 			
②サワラ生垣刈込 【施工前】 令和5年8月17日  【施工後】 令和5年8月28日 			
③施肥 【施工の様子】  			
【百沢街道】		【高岡街道】	

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和5年度実施状況】

研修生:5名

研修期間:6期生2名⇒令和2年9月～令和6年3月
 7期生2名⇒令和3年10月～令和7年3月
 8期生1名⇒令和4年9月～令和8年3月

研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。

研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで

※これまで14名が研修を修了し、うち9名が津軽塗職人として活動中。

令和5年度成果発表会を令和6年3月中旬に開催予定。

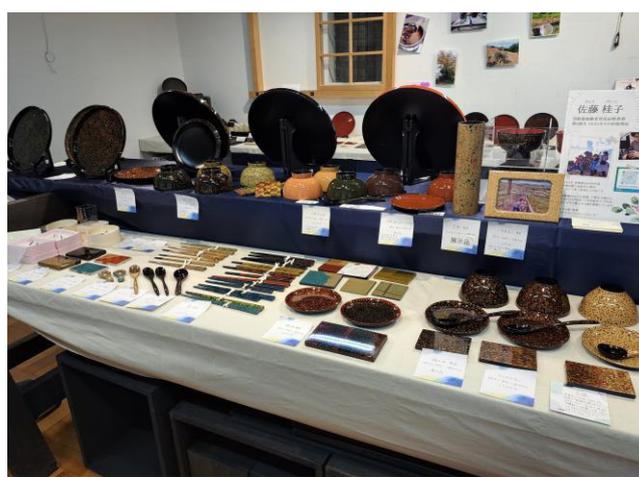
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

【研修風景】



【成果発表会】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。
 <津軽塗技術保存会 令和5年度活動状況>
 (1)後継者育成:塗研修生1名、木地研修生1名 フォローアップ研修生 塗2名、木地2名
 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。
 令和6年3月7日に会員による講習会を開催予定。
 (3)成果発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示。
 令和5年4月21日～23日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)
 令和5年10月27日～29日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

後継者育成における、講師の確保などの体制構築が急務である。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修の様子】



【成果発表会の様子】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
弘前市民俗文化財用具修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和58年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定無形民俗文化財大沢獅子舞保存会・弘前市指定無形民俗文化財松森町津軽獅子舞保存会の用具の修理・更新の経費の一部に対して補助金を交付した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要である。

状況を示す写真や資料等

【オカシ面修理(大沢獅子舞保存会)】



【足袋更新(松森町津軽獅子舞保存会)】



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行ってのイベント開催を計画していたが、イベントの運営を担う人材不足等を理由に令和5年度もイベントの開催を中止した。代替の取り組みとして、実行委員会の会員でもある津軽岩木スカイラインの8合目休憩所にお山参詣に関する垂れ幕を設置し、市民・観光客に対する情報発信を図った。

お山参詣に関する装飾:9月13日～9月15日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、スタッフ人員の確保のため若い人に声をかけるなどして、来年度は事業を実施したい。

状況を示す写真や資料等



津軽岩木スカイライン8合目休憩所でのお山参詣装飾状況

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	弘前に残る歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の保存 ①民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(1団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。			
○文化財の修理・整備 ①弘前城跡整備 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲) ・弘前城本丸石垣整備事業(H19～R6年度) 令和5年度は、本丸石垣東面(南側)積直し工事を進めた。			
②津軽山革秀寺整備事業 事業期間:R4～5年度 令和5年度は、山門塀の修理、山門天井絵の復元を実施した。 ※令和4年度は、土壁材料の加工、山門天井絵の彩色調査・模写を実施した。			
③高照神社文庫解体保存事業【繰越】 事業期間:R4～5年度 雪害でき損した文庫の保存修理のため、部材を解体保存した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
①弘前城跡整備 本丸石垣東面(南側)積直し工事(石垣修復工)	本丸石垣東面(南側)積直し工事 (新補石材加工状況)		
			
②津軽山革秀寺整備事業	山門塀の修理、山門天井絵の復元		
			
③高照神社文庫解体保存事業	解体部材保管小屋完成		
			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の防災・防犯

①最勝院五重塔防犯設備設置事業

事業期間: 令和5年度 落雷によりき損した防犯カメラの修理を実施。

②普門院本堂防災設備設置事業

事業期間: 令和5年度 普門院本堂及び庫裏に自動火災報知設備を設置。

③仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業

事業期間: 令和3年度～令和5年度

昭和55年度策定の防災計画見直しのため、令和3年度～令和4年度で調査を実施。

調査結果に基づき新たな防災計画を令和5年度策定。

④文化財防火デー火災防ぎょ訓練事業

文化財防火デー(1月26日)に合わせて、令和6年1月28日に木村産業研究所にて火災防ぎょ訓練を実施。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

ハード整備とともに、ソフト面での体制づくりを進める必要がある。個別文化財の防災計画について、所有者との連携で作成を目指す。

状況を示す写真や資料等

①最勝院五重塔防犯設備設置事業【防犯カメラの修理】



修理前



修理後

②普門院本堂防災設備設置事業



受信盤設置

③仲町伝統的建造物群保存地区防災計画見直し事業



④文化財防火デー火災防ぎょ訓練【木村産業研究所】



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
保存・活用の普及と啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存・活用の普及と啓発

- ①「ちびっこ縄文講座」開催
市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。(7月19日、9月27日、10月13日、10月24日に実施。参加人数:延べ96人)
- ②「歴史体感ツアー」開催(10月14日、22日に実施。参加人数:延べ63人)
- ③「小学校史跡見学会」開催
市内の小学生を対象に、大森勝山遺跡、堀越城跡、弘前城跡を見学。(参加校数:18校 参加人数:延べ911人)
- ④「大森勝山じょうもん祭り」開催(8月6日開催。参加人数:255人)
- ⑤「堀越城秋まつり」開催
史跡を会場に、見学ツアーや講演会などを開催。(9月3日開催。参加人数157人)
- ⑥「まいぶん講座」開催
学識経験者や市の担当者などが埋蔵文化財について市民向けに講座を開講。(6月24日、10月15日、21日開催。参加人数:76人)
- ⑦「まちなかクラフト村」開催
市内の工芸品の展示・販売を実施。(4月15日～2月12日 計10回実施。参加人数:延べ8,471人)
- ⑧その他学習支援及び一般説明等
小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。(実施回数18回 参加人数:593人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

①ちびっこ縄文講座



令和5年7月19日～10月24日 参加人数:延べ96人

②歴史体感ツアー



令和5年10月14日、22日 参加人数:延べ63人

③小学校史跡見学会



参加校数:18校 参加人数:延べ911人

④大森勝山じょうもん祭り



令和5年8月6日 参加人数:255人

⑤堀越城秋まつり



令和5年9月3日 参加人数:157人

⑥まいぶん講座



令和5年6月24日、10月15日、21日 参加人数:延べ76人

⑦まちなかクラフト村



令和5年4月15日～令和6年2月12日 参加人数:延べ8,471人

⑧その他学習支援等



令和5年10月21日ほか 参加人数:延べ593人

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
維持管理へ「守人」募る		R5.4.13	陸奥新報
殿様獅子 下乗橋渡り初め		R5.4.23	東奥日報
江戸の技術に市民感嘆		R5.11.4	陸奥新報
火災から国重文守れ		R6.1.29	陸奥新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

4月には昨年度に修理を終えた弘前公園の下乗橋にて、松森町津軽獅子舞保存会は安全祈願の舞を披露し、弘前さくらまつりを盛り上げた。また、秋には弘前城本丸石垣整備事業への理解を深め、文化財に触れる機会を創出するため、弘前公園にて開催した見学修理体験会が賑わいを見せた。一方で、長年氏子として地域の人が守り続けてきた弘前藩4代藩主・津軽信政を祭る高照神社の、老朽化進行と氏子の高齢化による維持管理の「限界」が大きく取り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	保存修理を進め、観光や商業機会の創出に繋げることができる一方で、活用が進まず、維持管理に困る事案も見受けられるため、今後とも、工夫しながら計画を着実に推進して実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やし、歴史まちづくりの普及に取り組む。

状況を示す写真や資料等

(1) 令和5年4月13日 陸奥新報 掲



(2) 令和5年4月23日 東奥日報 掲



(3) 令和5年11月4日 陸奥新報 掲



(4) 令和6年1月29日 陸奥新報 掲



(2) 東奥日報社提供

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

(1) (3) (4) 陸奥新報社提供

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りいたします。

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和5年4月15日・16日・17日に弘前市の前川建築や歴史まちづくり等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを「弘前さくらまつり」会場にて開催したことにより、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や景観資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

広聴広報課のシティプロモーションブース(現存12天守パネル展及び、各天守のパンフレット・記念品配布等)と協同出展したことにより、幅広い世代へ弘前市の近代建築及び景観をPRすることができた。また、さくらまつり開催期間ということもあり、県外観光客が圧倒的に多く、なかなか県外の方に配る機会がなかった弘前市の歴まちカードや各種パンフレットを配布することができた。今後も、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【景観ブース(弘前さくらまつり)令和5年4月15日・16日・17日】

○各種パンフレット等の配付実績

- 前川建築カード 木村産業研究所カード約258枚、市庁舎カード約147枚
- 歴まちカード 約285枚
- 趣のある建物 約1,052冊
- 趣のある風景 約1,029冊
- 前川建築パンフ 約1,169冊

【景観ブースの様子】



評価対象年度

令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 対面開催(令和6年2月14日)

■ 議事の内容

- ・令和5年度 進行管理・評価シートについて
- ・弘前市歴史的風致維持向上計画(第2期)の中間評価について
- ・弘前市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について

■ 進行管理・評価シートへのコメント

- ・9ページの追手門広場改修について、このミニチュア建造物は設置されてどのくらいの年数が経ったものなのか。また、今後の予定について教えていただきたい。
→観光課へ確認する。

■ 中間評価へのコメント

- ・10ページ、11ページ、14ページについて、江戸時代の年号だけでも歴史的風致維持向上計画と揃えて、括弧書きで西暦も表示してはどうか。
→修正する。
- ・6ページの観光ガイドの増加について、今年度からひろさきガイド学校が開校され、いろいろ動き始めたようなので、その部分を具体的に記載していただきたい。
→修正する。

■ 軽微な変更へのコメント

- ・弘前れんが倉庫美術館について「吉野町緑地周辺整備事業」が挙げられており、歴史的な産業遺産である煉瓦倉庫を活用して美術館を核とする文化交流拠点の整備を行ったとあるが、具体的に市はどのようなことを行ったのか。
→協議会にて説明。
- ・計画書の115ページ、旧藤田家別邸の括弧書きが「匠館」と修正されているが、117、119ページの部分も修正いただけるか。
→修正する。

【協議会の様子】



(今後の対応方針)

計画の下半期も、引き続き国の補助事業を活用しながら景観形成・歴史的なまちづくりを進め、弘前ならではの風致の維持・向上を図る。